



## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月2日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	7,208	26.1	1,382	43.5	1,439	43.0	917	33.6
2020年9月期第3四半期	5,717	18.2	963	11.6	1,006	13.1	686	13.5

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 925百万円 (43.1%) 2020年9月期第3四半期 646百万円 (7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	90.55	—
2020年9月期第3四半期	67.81	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,734	5,075	75.4
2020年9月期	5,642	4,327	76.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 5,075百万円 2020年9月期 4,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,621	22.6	1,737	29.7	1,795	30.1	1,096	11.9	108.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	10,405,800株	2020年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	275,382株	2020年9月期	278,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	10,128,862株	2020年9月期3Q	10,127,483株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により景気は下押し圧力の強い状態となり、先行きは非常に不透明な状況となっております。

これを受け、国内のインターネット関連市場は、動画視聴及びEC（インターネット通販）等の巣ごもり消費が拡大し、引き続き市場成長が継続しております。加えて、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、リモートワークの拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT（※1）によりあらゆるものがサイバー攻撃のリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々深刻化しております。そのため、全てのインターネットユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、投稿監視、カスタマーサポート、及びサイバーセキュリティへの関心は増加しております。

#### 用語説明

（※1）Internet of Things（モノのインターネット）の略称。建物、車及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

加えて、投稿監視業務はインターネット世界の安心を、サイバーセキュリティ業務はインターネット世界の安全を実現するために必要不可欠であり、SDGs（ESG）に代表される社会課題の解決、及び持続可能な社会の構築において当社の存在意義は一層高まっております。

その中で、サイバーセキュリティ領域の強化を目的に、2020年10月にソフトウェア型WAF（※2）の開発を行う株式会社ジェイビー・セキュアを子会社化、並びにクラウド型及び次世代型WAFの開発を行う株式会社グレスアベイルを完全子会社化し、自社開発によるWAFのフルラインナップを揃えております。

このような取り組みにより、経済産業省委託機関である情報処理推進機構（IPA）からSaaS版WAFの有効性及び差別化ポイントを評価される等品質向上の成果が表れております。

#### 用語説明

（※2）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,208,216千円（前年同期比26.1%増）、営業利益は1,382,769千円（前年同期比43.5%増）、経常利益は1,439,533千円（前年同期比43.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は917,207千円（前年同期比33.6%増）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。なお、サイバーセキュリティ業務の拡大に伴い、その他業務の売上をサイバーセキュリティ業務と分けております。また、前年度のその他業務の売上を組み替えて表示しております。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルWebサービス（※3）等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスは需要が増えたもの、減少したもの等大小様々な影響が出ております。

その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウとAIの活用により高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

その結果、売上高は3,765,616千円（前年同期比59.0%増）となりました。

用語説明

（※3）SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、Eコマース等の個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

グループ会社であるEGテストサービス株式会社が、ゲーム開発・運営の品質向上サポートを目的に、基準通りの設計であることを検査する「開発レギュレーションテスト」を開始いたしました。

その結果、売上高は1,630,281千円（前年同期比13.3%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

専門性の高い審査を実施できる人材の育成を目的に「赤坂 Ad Process Lab」を開設いたしました。

その結果、売上高は842,966千円（前年同期比14.5%増）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主にWAF及び脆弱性診断を提供しております。

株式会社ジェイピー・セキュアは、100万サイトを超越する導入実績がある国内利用サイト数1位のソフトウェア型WAFを提供いたしました。株式会社グレスアベイルは、国内初のコンテナ型WAFである新開発の「GUARD IAX」の拡販に向け機能強化に取り組みました。

また、脆弱性診断におきましては、EGセキュアソリューションズ株式会社が、株式会社グレスアベイル及び株式会社ジェイピー・セキュアとのグループシナジーを強みに、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は473,646千円（前年同期比71.8%増）となりました。

⑤ その他

その他は、主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

EGテストサービス株式会社が、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は495,704千円（前年同期比8.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,828,608千円となり、前連結会計年度末における流動資産4,528,418千円に対し、300,190千円の増加（前連結会計年度末比6.6%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が99,732千円増加し、加えて売掛金が150,300千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,906,100千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,114,076千円に対し、792,024千円の増加（前連結会計年度末比71.1%増）となりました。

これは主に、のれんが570,398千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,734,709千円（前連結会計年度末比19.4%増）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,659,292千円となり、前連結会計年度末における負債1,314,770千円に対し、344,521千円の増加（前連結会計年度末比26.2%増）となりました。

これは主に、未払金が194,305千円増加、流動負債のその他が89,675千円増加及び固定負債のその他が108,474千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、5,075,416千円となり、前連結会計年度末における純資産4,327,724千円に対し、747,692千円の増加（前連結会計年度末比17.3%増）となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益917,207千円を計上した一方、子会社株式の追加取得により資本剰余金が74,367千円減少したこと及び剰余金の配当102,882千円を実施したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月10日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,479,065	3,578,797
売掛金	983,633	1,133,934
仕掛品	3,292	20,879
その他	62,427	94,996
流動資産合計	4,528,418	4,828,608
固定資産		
有形固定資産	517,693	497,493
無形固定資産		
のれん	155,707	726,105
ソフトウェア	30,396	23,627
その他	311	220,837
無形固定資産合計	186,415	970,570
投資その他の資産	409,966	438,036
固定資産合計	1,114,076	1,906,100
資産合計	5,642,494	6,734,709
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,918	6,069
未払金	532,779	727,084
未払費用	20,533	13,238
未払法人税等	271,294	298,422
未払消費税等	206,158	121,289
賞与引当金	103,022	90,431
その他	40,349	130,024
流動負債合計	1,179,056	1,386,561
固定負債		
役員株式給付引当金	93,298	106,643
長期預り保証金	27,007	42,205
その他	15,408	123,882
固定負債合計	135,714	272,731
負債合計	1,314,770	1,659,292
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	376,512	302,144
利益剰余金	3,924,734	4,739,059
自己株式	△343,468	△341,063
株主資本合計	4,322,058	5,064,421
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,532	10,995
その他の包括利益累計額合計	2,532	10,995
非支配株主持分	3,132	—
純資産合計	4,327,724	5,075,416
負債純資産合計	5,642,494	6,734,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,717,973	7,208,216
売上原価	3,751,002	4,635,159
売上総利益	1,966,970	2,573,056
販売費及び一般管理費	1,003,323	1,190,287
営業利益	963,647	1,382,769
営業外収益		
補助金収入	42,505	47,034
保険解約返戻金	—	12,083
その他	3,150	2,500
営業外収益合計	45,655	61,619
営業外費用		
支払利息	1,265	143
為替差損	735	4,712
その他	703	—
営業外費用合計	2,703	4,855
経常利益	1,006,599	1,439,533
特別利益		
固定資産売却益	—	726
移転補償金	4,463	—
特別利益合計	4,463	726
特別損失		
固定資産売却損	—	236
固定資産除却損	13,126	1,885
特別損失合計	13,126	2,122
税金等調整前四半期純利益	997,936	1,438,137
法人税、住民税及び事業税	346,109	527,503
法人税等調整額	11,985	△6,573
法人税等合計	358,095	520,930
四半期純利益	639,841	917,207
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,915	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	686,757	917,207

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	639,841	917,207
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,886	8,462
その他の包括利益合計	6,886	8,462
四半期包括利益	646,728	925,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693,643	925,669
非支配株主に係る四半期包括利益	△46,915	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年10月1日付で、連結子会社である株式会社グレスアベイルの株式を追加取得いたしました。

この結果、第1四半期連結会計期間において、資本剰余金が74,367千円減少しました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は302,144千円となっております。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、2021年8月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を、以下のとおり決議いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

2 取得に係る事項の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類  | 当社普通株式                                       |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 100,000株(上限)<br>(発行済み株式総数(自己株式除く)に対する割合1.0%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 350百万円(上限)                                   |
| (4) 取得期間       | 2021年8月3日～2021年9月20日                         |
| (5) 取得方法       | 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付                      |